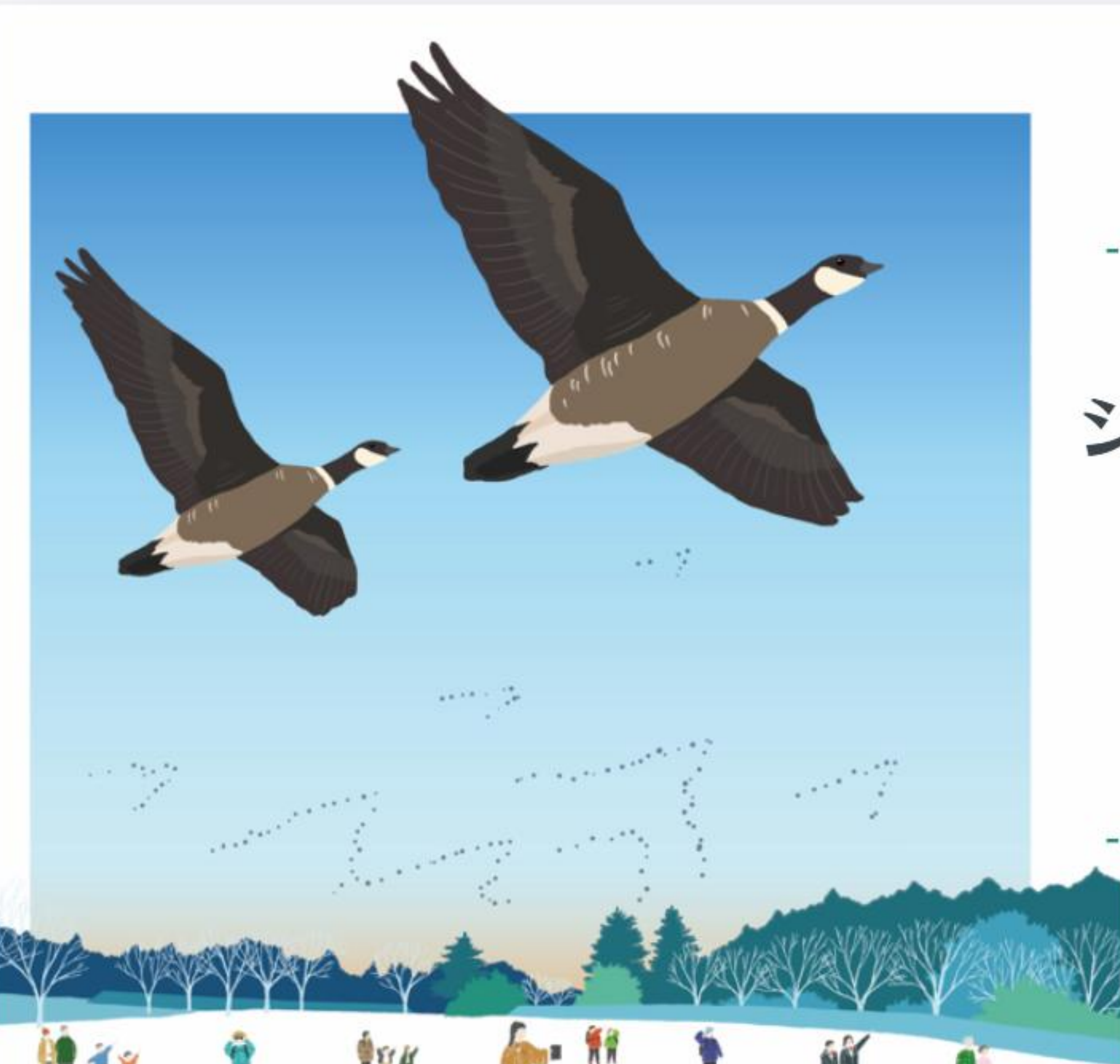




シジュウカラガン復活 プロジェクト

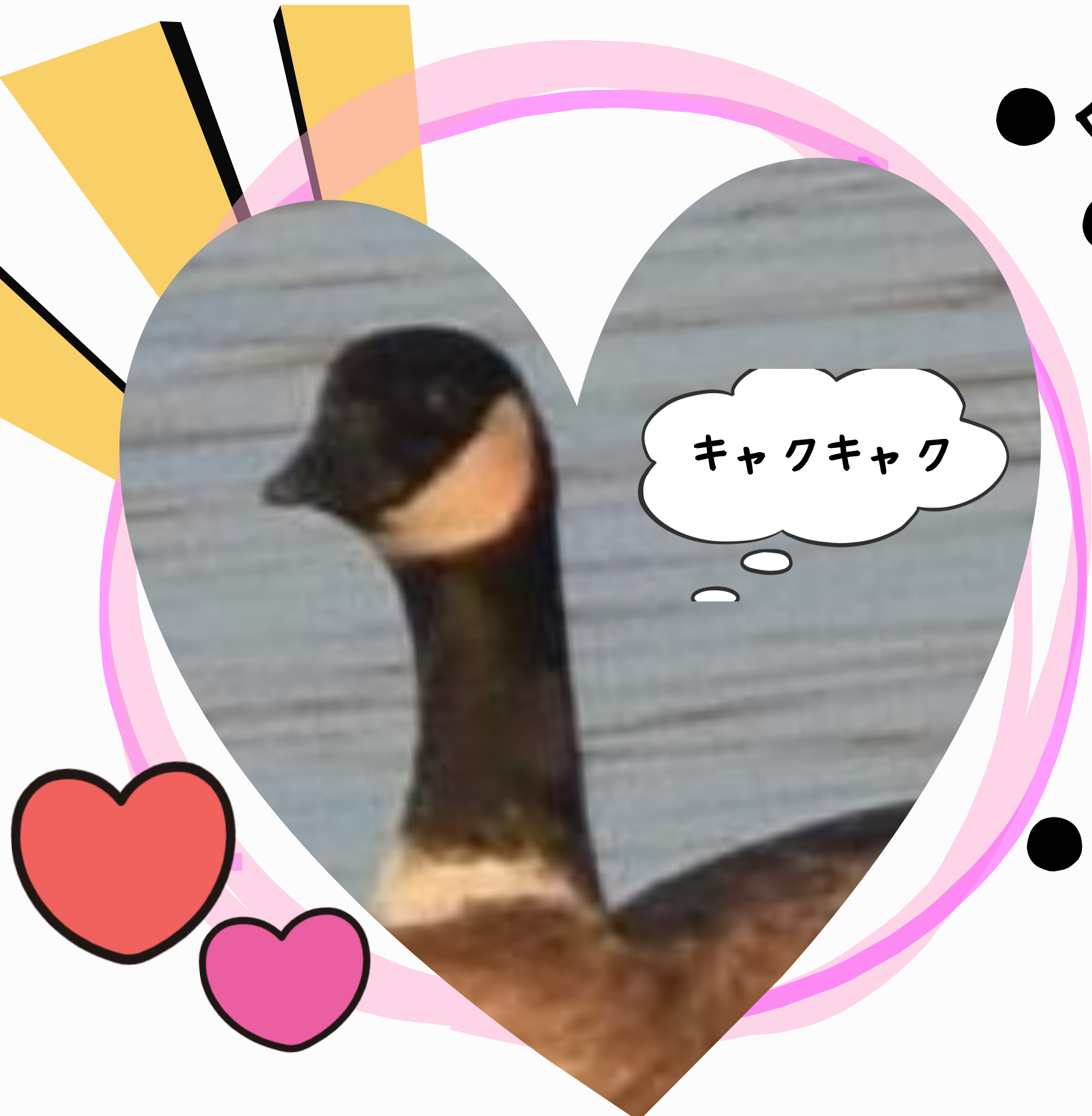
仙台育英学園高等学校
外国語コース

アイドル級の可愛さ！シジューウカラガン

- くっつきり白黒のふわふわボディ
- 首の「白い輪っか模様」がまるでチョーカー！

<自己紹介>

- 体長は約60cm
- 小型で丸っこい体つき
- 白と黒のコントラストがはっきりまるでマフラーを巻いているみたい
- つぶらな瞳がキュート





シジュウカラガンは
とても家族おもい！

シジュウカラガンは基本的に2～6羽ほどの群れ(家族)で行動
→移動するときや飛びたつときは必ず家族いっしょに！
【合図は首振り】 振る→飛ぶ 振らない→飛ばない
1羽でも動かないと動くまで待っている **家族愛**の強い鳥！

シジュウカラガン復活プロジェクトとは？

七北田川をはさみ、仙台・多賀城両市にひろがる

2022年10月に
始動！

七北田低地 に渡り鳥であるシジュウカラガンの
群れを再び飛来させることを目指す活動！！



プロジェクトの目的

ユース世代の意思で動かす！

→ 地元の高校生（私たち）が
シジュウカラガンや地域の自然・
歴史・文化などを学び、
人と自然が共生する社会の実現
を目指して行動する。



①日本雁を保護する会 呉地正行会長による講演会

呉地会長の著書『シジュウカラガン物語』を事前に読み、当日はシジュウカラガンの生態について専門的な学びを得る。呉地会長に直接質問する生徒も多数！



②シジュウカラガン埤入り観察会in宮城県大崎市化女沼

夕暮れの空にたくさん飛ぶシジュウカラガンの群れが美しく、豊かな自然を満喫。現地で呉地会長や蕪栗ぬまっこくらぶの戸島さんによるお話を聞きながら、埤入りを観察！！

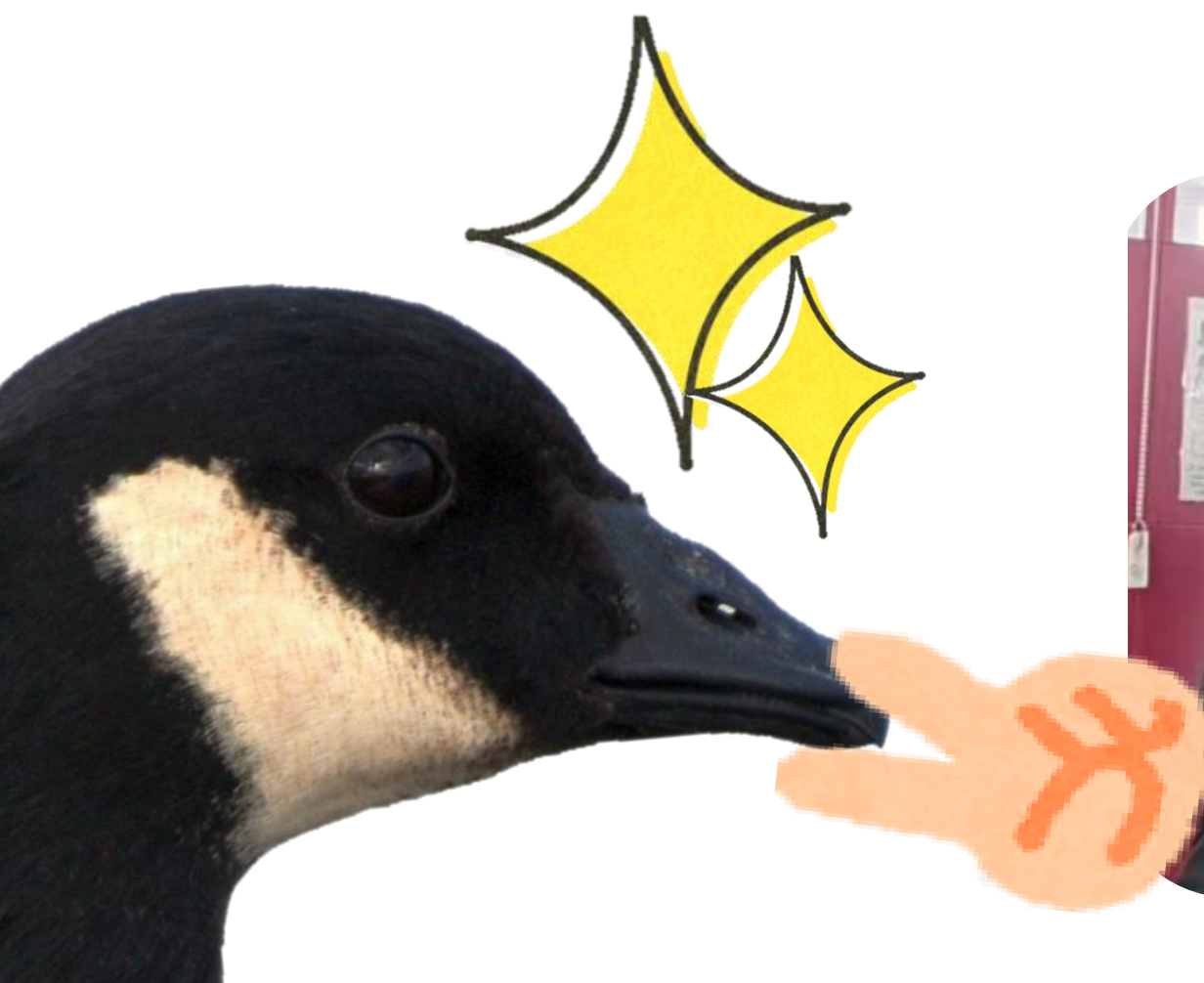
毎年恒例
観察会！



③シジュウカラガン復活プロジェクト公開シンポジウム in多賀城市立図書館

「七北田低地にシジュウカラガンの群れを再び飛来させるために何ができるか」というテーマのもと、多賀城市長に政策提言。

「**ガンピポーズ**」というアイデアに大きな反響！！
(※シジュウカラガンのくちばしをイメージしたポーズ)



④ Fujisaki-day in 仙台市八木山動物公園

仙台市八木山動物公園との企画は、公開シンポジウム(③)で行った政策提言の1つであり、実際に行動に移すことができた貴重な体験。2023年度から3年連続で参加し、毎年新たなアイデアを生み出し「シジュウカラガン」の認知度向上に努める！

- 2023年度→紙芝居制作
- 2024年度→塗り絵制作
- 2025年度→「ほっか帽」制作



⑤ 多賀城市高橋地区生活センターでのおむすび交流会

高校生のアレンジ
つけまつげ！

七北田低地にシジュウカラガンを再び飛来させるためには、地域住民の理解・協力が大切だ。紙芝居披露、シジュウカラガンに見立てたおにぎり作りなどの活動を通じて多賀城市高橋地区の方々と交流を深めた。



⑥ J-GBFネイチャーポジティブ宣言に参加

シジュウカラガン復活プロジェクトの活動を軸とした
「**ネイチャーポジティブ宣言**」を作成。
J-GBFネイチャーポジティブ宣言に登録！！

⑦ 多賀城市立図書館での企画



●トークイベント 『**ほっか**』とともに

→シジュウカラガン復活プロジェクトの認知拡大を目的に、
地域の方々へ七北田低地とシジュウカラガンの歩みを紹介！

●ワークショップ **仙台育英学園の高校生と楽しく作ろう！** **キャクキャクといっしょ！**

→こども向けの企画を実施。塗り絵や自作絵本読み聞かせの
ほか、「ほっか帽」を事前に作り、当日こどもたちにデコ
レーションしてもらった。



自分だけのオリ
ジナルほっか帽
づくり！



⑧ オリジナルドリフトップ「ほっか珈琲」のデザイン作成

- シジュウカラガン復活プロジェクト × 藤崎百貨店 × 三本珈琲
- コラボ商品「ほっか珈琲」！
- 藤崎百貨店 冬のプレミアムギフトとして販売
- シジュウカラガンの羽数回復までの実話をもとに製作した紙芝居動画「ホッカ、またナナキタに来てね」のQRコードを記載
- 商品パッケージをデザイン



⑨ 『 蕪栗沼・ 周辺水田』ラムサール条約湿地登録20周年祭 参加



- シジュウカラガンの歴史や魅力、活動について発表を行った。大舞台に緊張したが、分かりやすく伝えることができた！
- ユース世代からの提言をまとめ、大崎市長に伝えることができた。

⑩ ネイチャーポジティブシンポジウム参加 「よみがえれ シジュウカラガン ふるさと仙台へ！ ～雁が舞う懐かしい未来をとりもどすために～」



- 活動について発表を行うとともに、ネイチャーポジティブの実現に向けた共創アイデアを市民のみなさんと共に考えることができた。